

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	青少年家庭課長 黒田利恵	電話番号	0852-22-5242
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	困難を有する子ども・若者支援事業		
目的	(1) 対象	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者やその家族	
	(2) 意図	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者やその家族が相談や自立に向けた必要な支援を受けることができる。	
事業概要	市町村における支援体制を整備・拡充させる。①「圏域ネットワーク整備事業」：総合相談窓口を設置している5市（松江・出雲・大田・浜田・益田）を中心に周辺市町村とのネットワークを整備する。②「子ども・若者広域支援事業」：総合相談窓口を設置している市町村が行う居場所事業や就労体験事業を支援し、支援体制の広域化を図る。③「農業等との連携による自立支援事業」：子ども・若者支援センターにコーディネーターを配置し、農業事業者等とのネットワークや子ども・若者とのマッチングを行い、体験を通じ自立につなげるモデルを構築する。④「島根県子ども・若者支援地域協議会運営事業」：子ども・若者を支援する関係機関で構成される地域協議会の効果的な運営により、県内の支援体制の充実を図る。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	社会体験や就労体験への協力事業所数	目標値	75.0	90.0	105.0	120.0	箇所
	式・定義	社会体験や就労体験の場として登録されている事業所等の数	取組目標値					
			実績値	59.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					%
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	#VALUE!

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,515	25,127
うち一般財源(千円)	1,515	25,127

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・県内において総合相談窓口は8市町、地域協議会は5市町が設置されている。総合相談窓口が設置されていない市町村があるため、県内どこからでも相談ができるよう、3市（松江市・出雲市・益田市）を中心としたネットワークを整備した。
 ・平成27年度末現在、松江、出雲、浜田、益田市の4つの子ども・若者支援センターによる相談受理は延9,067件（前年比248件増）、支援を行った子ども・若者の数は延べ1,118人（前年比194人増）、つなぎ先としての協力事業所は59事業所である。
 ・平成27年度より県のひきこもり支援センターが設置され、ひきこもり支援が拡充された。子ども・若者支援との関わりが多いため、県の協議会を合同開催とした。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・相談支援体制が整備され、圏域でのネットワークが構築されつつある。
 ・当初、4市（松江・出雲・浜田・益田）を中心としたネットワーク構築を想定していたが、市町村との意見交換により、大田市を加えた5市を中心とするネットワーク構築に変更した。
 ・ひきこもり支援と合同で県地域協議会を開催することにより、一層連携が進んだ。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 各市町村により取組に温度差が見られ、相談支援体制に市町村格差が出てきている。
 - 相談に引き続く自立に向けた支援の場やつなぎ先が不足している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 各市町村とも厳しい財政状況や人員の中、子ども・若者支援の取組についての優先度が低くなる傾向にある。
 - 子ども・若者が抱える困難が複雑多様化してきており、対応できる場が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
- これまでに設置されている市町の総合相談窓口や地域協議会を活用し、設置されていない市町村においても当事者が支援を受けられる体制の構築が必要である。
 - 子ども・若者に関する多様な相談や複雑困難化する課題に対応できるような居場所や自立(就労)支援の場の確保が必要である。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)